



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠エネクス株式会社  
コード番号 8133 URL <https://www.itcenex.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 吉田 朋史  
執行役員CCO(兼)CFO補佐  
問合せ先責任者 (役職名) (兼)コーポレート第1部門副部門長 (氏名) 井上 慎一郎 TEL 03-4233-8008  
(兼)財務経理部長  
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業活動に係る利益		税引前四半期利益		四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	214,743	△12.5	9,246	62.3	8,519	24.4	5,730	15.6	5,139	15.7	6,224	15.7
2023年3月期第1四半期	245,353	18.5	5,696	31.7	6,849	45.9	4,956	49.9	4,442	66.6	5,381	81.1

	基本的1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	希薄化後1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	45.54	-
2023年3月期第1四半期	39.35	-

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	株主資本合計	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	406,312	183,162	155,656	38.3
2023年3月期	433,024	180,328	152,961	35.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	24.00	-	26.00	50.00
2024年3月期	-				
2024年3月期(予想)		26.00	-	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業活動に係る利益		税引前利益		当社株主に帰属する当期純利益		基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200,000	18.6	20,900	△2.2	22,300	△3.2	13,500	△2.4	119.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社の業績評価は通期ベースで作成しており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期1Q	116,881,106株	2023年3月期	116,881,106株
2024年3月期1Q	4,025,977株	2023年3月期	4,025,827株
2024年3月期1Q	112,855,202株	2023年3月期1Q	112,880,090株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	7
(2) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	14
(6) セグメント情報 .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 当期の連結業績の概況

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年6月30日）における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、資源価格の高値圏推移による国内における石油製品や電力等のエネルギー価格の高騰は落ち着きを取り戻しつつありますが、地政学リスクや為替の影響など将来の見通しについては引き続き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループでは、2023年4月に中期経営計画『ENEX2030』を新たに策定いたしました。

## 中期経営計画の概要

## ENEX2030

くらしの原動力を創る

生活や産業へ多様なエネルギー・サービスを提供し  
更なる成長・変革へ挑戦する

## 1. 計画名称：

## 2. 期間：8ヵ年（2023年度～2030年度）

## 3. 中期経営計画『ENEX2030』概要：

## 1) 目指す方向性

## ①現場力の増強

- ・既存事業における顧客基盤の更なる充実と収益性の向上
- ・グループ・コミュニケーション向上、総合力を高め、現場力強化

## ②投資実行の加速

- ・投資推進体制の構築による投資の加速
- ・新規・戦略投資2,100億円

## 2) 経営目標

## (財務指標)

- ①当期純利益200億円以上、②実質営業キャッシュ・フロー（※1）450億円、③ROE9.0%以上、④新規戦略投資（8年累計）2,100億円

## (非財務指標)

- ①GHG排出量50%以上削減（2018年度比 Scope1.2）、②女性採用比率30%以上、③女性管理職比率10%、④男性育休取得率80%以上

## 4. 中期経営計画『ENEX2030 ‘23-‘24（2023-2024）』の概要

## 1) 位置づけ：“2030年目指す姿”実現に向け、現場力強化、収益基盤強化により成長戦略実現への体制構築

## 2) 主な取り組み：①現場力の強化 ②投資実行体制の進化 ③組織・人材の強化

## 3) 経営目標

## (財務指標)

- ①当期純利益135億円（23・24年度）、②実質営業キャッシュ・フロー毎期350億円、③ROE8～9%（23・24年度）、④累計投資額600億円（内CAPEX160億円）

## (株主還元)

連結配当性向40%以上を強く意識した上で、累進配当を実施

（※1）実質営業キャッシュ・フローとは、営業活動によるキャッシュ・フローから運転資金等を除いたものです。

以上の新たな中期経営計画のもと、事業を推進し、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2022年度第1四半期 連結累計期間	2023年度第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	245,353	214,743	△30,610
営業活動に係る利益	5,696	9,246	3,550
当社株主に帰属する四半期純利益	4,442	5,139	697

売上収益は2,147億4千3百万円（前年同期比12.5%の減少）となりました。これは主に、原油価格およびLPガス価格の下落に伴う販売価格の下落によるものです。

営業活動に係る利益は92億4千6百万円（前年同期比62.3%の増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は51億3千9百万円（前年同期比15.7%の増加）となりました。これは主に、ホームライフ事業におけるLPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅への影響による減益があったものの、カーライフ事業における自動車ディーラー事業が堅調に推移したことと、大規模太陽光発電所（メガソーラー）の売却による一過性の利益（営業活動に係る利益に与える影響は50億1千9百万円）があったことによるものです。

## ② 当期のセグメント別の概況

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

### 【ホームライフ事業】

(単位：百万円)

	2022年度第1四半期 連結累計期間	2023年度第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	19,607	15,703	△3,904
営業活動に係る利益 又は損失（△）	410	△35	△445
当社株主に帰属する四半期純利益 又は損失（△）	931	△489	△1,420

〔LPガス事業〕直売顧客軒数は新規顧客の獲得や営業権買収の推進により、約567千軒（前期末比約2千軒増加）となりました。LPガス販売数量は、平均気温が前年同期を上回ったことが影響し、前年同期をわずかに下回りました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は157億3百万円（前年同期比19.9%の減少）となりました。これは主に、LPガス輸入価格の連動による販売価格が前年同期においては上昇傾向だった一方で、当第1四半期連結累計期間においては下落傾向にあり、前年同期との価格差が広がったことによるものです。

営業活動に係る損失は3千5百万円（前年同期比108.5%の減少）、当社株主に帰属する四半期純損失は4億8千9百万円（前年同期比152.5%の減少）となりました。これは主に、LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅への影響によるものです。

## 【カーライフ事業】

(単位：百万円)

	2022年度第1四半期 連結累計期間	2023年度第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	132,133	139,218	7,085
営業活動に係る利益	1,773	2,056	283
当社株主に帰属する四半期純利益	1,039	1,045	6

〔CS(※2)事業〕CS数は前期末より8ヵ所減少し、1,602ヵ所となりました。石油製品の販売数量は、新型コロナウイルス感染症による影響緩和で石油製品の需要が回復傾向にあり、前年同期を上回りました。

〔自動車関連事業〕自動車ディーラー事業を行っている子会社の大阪カーライフグループ(株)において、新車販売台数が好調に推移しましたが、中古車販売台数が減少したことにより、全体の販売台数は前年同期を下回りました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は1,392億1千8百万円(前年同期比5.4%の増加)となりました。これは主に、石油製品の販売数量増加によるものです。

営業活動に係る利益は20億5千6百万円(前年同期比16.0%の増加)、当社株主に帰属する四半期純利益は10億4千5百万円(前年同期比0.6%の増加)となりました。これは主に、自動車ディーラー事業における新型車の販売が堅調に推移したことで、CS小売事業における利幅縮小を吸収したことによるものです。

(※2)CSとは、カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所です。

## 【産業ビジネス事業】

(単位：百万円)

	2022年度第1四半期 連結累計期間	2023年度第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	71,216	32,111	△39,105
営業活動に係る利益	2,023	965	△1,058
当社株主に帰属する四半期純利益	1,401	699	△702

〔船舶燃料販売事業〕外航船向けの取引が一部縮小したことにより、販売数量は前年同期を下回りました。

〔環境関連事業〕AdBlue®(※3)は販路開拓が順調に進んだことにより、販売数量は前年同期を上回りました。

〔法人向け自動車燃料給油カード事業〕新規顧客開拓を進めたことにより、販売数量は前年同期を上回りました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は321億1千1百万円(前年同期比54.9%の減少)となりました。これは主に、原油価格の下落に伴う販売価格の下落や販売数量の減少によるものです。

営業活動に係る利益は9億6千5百万円(前年同期比52.3%の減少)、当社株主に帰属する四半期純利益は6億9千9百万円(前年同期比50.1%の減少)となりました。これは主に、産業ガス事業が好調に推移したものの、前年同期に好調であった船舶燃料販売事業や流通ターミナル事業等の反動によるものです。

(※3)AdBlue®とは、ディーゼルの排気ガスを分解して無害化する際に使われる世界標準の高品位尿素水。(®AdBlueはドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。)

## 【電力・ユーティリティ事業】

(単位：百万円)

	2022年度第1四半期 連結累計期間	2023年度第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	22,397	27,711	5,314
営業活動に係る利益	1,387	6,135	4,748
当社株主に帰属する四半期純利益	1,022	3,853	2,831

〔電力小売事業〕 低圧販売において新規契約の獲得により前年同期を上回りましたが、高圧販売において採算販売を行ったことにより、販売数量全体は前年同期を下回りました(※4)。当社グループ全体の電力小売顧客件数は324千件(前期末比約10千件減少)となりました。

〔熱供給事業(※5)〕 平均気温が前年同期を上回りましたが、節約志向に伴う空調利用の減少により、販売熱量は前年同期をわずかに下回りました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

売上収益は277億1千1百万円(前年同期比23.7%の増加)となりました。これは主に、資源価格の高騰を受けた販売価格の上昇によるものです。

営業活動に係る利益は61億3千5百万円(前年同期比342.3%の増加)、当社株主に帰属する四半期純利益は38億5千3百万円(前年同期比277.0%の増加)となりました。これは主に、大規模太陽光発電所(メガソーラー)の売却による一過性の利益(営業活動に係る利益に与える影響は50億1千9百万円)によるものです。

(※4) 電力事業の販売数量は高圧・低圧ともに取次数量を含みます。

(※5) 熱供給事業とは、熱源プラントから複数の建物、オフィスビル等に、冷房・暖房等に使用する冷水・温水を導管で供給する事業です。

## (2) 財政状態に関する説明

## 【資産、負債及び資本の状況】

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年6月末	増減
資産合計	433,024	406,312	△26,712
負債合計	252,696	223,150	△29,546
資本合計	180,328	183,162	2,834

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して267億1千2百万円減少し、4,063億1千2百万円となりました。これは主に、季節要因により営業債権が233億9千4百万円減少したことによるものです。また負債合計は、前連結会計年度末と比較して295億4千6百万円減少し、2,231億5千万円となりました。これは主に、季節要因により営業債務が177億5千9百万円減少したことと、社債及び借入金が110億8千7百万円減少したことによるものです。資本合計は、当社株主に帰属する四半期純利益による51億3千9百万円増加及び配当金支払いによる33億9千万円減少等により前連結会計年度末と比較して28億3千4百万円増加の1,831億6千2百万円となりました。

## 【キャッシュ・フローの状況】

当社グループでは、コア事業から生みだされたキャッシュ・フローをもとに周辺事業の拡大や新たな事業領域への積極的な投資を推進できる体制を維持しております。

当面の資金調達余力につきましては、潤沢な現金及び現金同等物に加え、十分な当座貸越枠並びに社債(CP)発行枠を確保しております。また、これまでも健全な水準を維持してきたネットDERは△0.21倍となっております。

(単位：百万円)

	2022年度第1四半期 連結累計期間	2023年度第1四半期 連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	3,995	8,733	4,738
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,599	13,323	16,922
(フリー・キャッシュ・ フロー)	(396)	(22,056)	(21,660)
財務活動による キャッシュ・フロー	3,345	△17,688	△21,033
現金及び現金同等物の増減 額	3,741	4,368	627
為替相場の変動による現金 及び現金同等物への影響額	40	56	16
現金及び現金同等物の四半 期末残高	41,926	36,437	△5,489

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して44億2千4百万円増加の364億3千7百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

(単位：百万円)

	2022年度第1四半期 連結累計期間	2023年度第1四半期 連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	3,995	8,733	4,738
運転資金等の増減	△4,713	3,375	8,088
実質営業キャッシュ・ フロー(※6)	8,708	5,358	△3,350

(※6) 営業活動によるキャッシュ・フローから運転資金等（営業債権の増減、棚卸資産の増減、営業債務の増減、その他一純額）を除いたものです。

営業活動の結果得られた資金は87億3千3百万円となりました。主な要因は、税引前四半期利益85億1千9百万円、減価償却費及び償却費52億3千3百万円、固定資産に係る損益51億6百万円、法人所得税の支払額48億6千3百万円によるものです。なお、営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期比で47億3千8百万円増加しております。また、実質営業キャッシュ・フローにつきましては前年同期比で33億5千万円減少しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当社グループでは、これまでも投資戦略に基づき常に資本効率を意識した投資を進めております。

投資活動の結果得られた資金は133億2千3百万円となりました。主な要因は、有形固定資産及び投資不動産の取得による支出23億5千万円、大規模太陽光発電所（メガソーラー）を中心とした有形固定資産及び投資不動産の売却による収入252億7千1百万円、預け金の増加による支出100億円によるものです。なお、投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期比で169億2千2百万円増加しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当社グループでは、企業価値向上に向けグループ全体での財務活動の効率化を目指し、グループ金融制度（※7）により財務マネジメントを強化しております。

財務活動により支出した資金は176億8千8百万円となりました。主な要因は、社債及び借入金の返済額106億7千1百万円、リース負債の返済による支出27億9千9百万円、当社株主への配当金の支払額29億3千8百万円によるものです。なお、財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期比で210億3千3百万円減少しております。

(※7) グループ金融制度とはグループ間で資金を融通しあうことで資金管理・調達コストを効率化する制度です。



## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2023年6月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	32,013	36,437
営業債権	115,920	92,526
その他の短期金融資産	14,251	25,131
棚卸資産	26,176	30,383
未収法人所得税	100	868
前渡金	907	175
その他の流動資産	1,774	1,987
流動資産合計	191,141	187,507
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	31,762	30,269
その他の投資	3,442	3,635
投資以外の長期金融資産	11,508	8,975
有形固定資産	149,920	127,722
投資不動産	12,732	13,160
のれん	521	521
無形資産	20,237	21,099
繰延税金資産	9,354	11,964
その他の非流動資産	2,407	1,460
非流動資産合計	241,883	218,805
資産合計	433,024	406,312

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2023年6月30日)
(負債及び資本の部)		
流動負債		
社債及び借入金（短期）	7,026	2,540
営業債務	114,818	97,059
リース負債	10,415	9,577
その他の短期金融負債	5,134	9,483
未払法人所得税	4,748	2,534
前受金	11,031	11,649
その他の流動負債	12,951	12,805
流動負債合計	166,123	145,647
非流動負債		
社債及び借入金（長期）	7,101	500
リース負債	47,263	45,705
その他の長期金融負債	15,454	15,117
退職給付に係る負債	10,344	10,391
繰延税金負債	759	805
引当金	5,515	4,844
その他の非流動負債	137	141
非流動負債合計	86,573	77,503
負債合計	252,696	223,150
資本		
資本金	19,878	19,878
資本剰余金	19,014	19,014
利益剰余金	115,899	118,024
その他の資本の構成要素	66	636
自己株式	△1,896	△1,896
株主資本合計	152,961	155,656
非支配持分	27,367	27,506
資本合計	180,328	183,162
負債及び資本合計	433,024	406,312

## (2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	245,353	214,743
売上原価	△222,979	△193,611
売上総利益	22,374	21,132
その他の収益及び費用		
販売費及び一般管理費	△16,710	△17,146
固定資産に係る損益	△20	5,106
その他の損益	52	154
その他の収益及び費用合計	△16,678	△11,886
営業活動に係る利益	5,696	9,246
金融収益及び金融費用		
受取利息	7	18
受取配当金	25	75
支払利息	△215	△194
その他の金融損益	4	△361
金融収益及び金融費用合計	△179	△462
持分法による投資損益	1,332	△265
税引前四半期利益	6,849	8,519
法人所得税費用	△1,893	△2,789
四半期純利益	4,956	5,730
四半期純利益の帰属		
当社株主に帰属する四半期純利益	4,442	5,139
非支配持分に帰属する四半期純利益	514	591
計	4,956	5,730

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
その他の包括利益 (税効果控除後)		
純損益に振替えられることのない項目		
FVTOCI金融資産	△24	198
持分法適用会社におけるその他の包括利益	△17	90
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	20	20
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	201
持分法適用会社におけるその他の包括利益	446	△15
その他の包括利益 (税効果控除後) 計	425	494
四半期包括利益	5,381	6,224
四半期包括利益の帰属		
当社株主に帰属する四半期包括利益	4,866	5,633
非支配持分に帰属する四半期包括利益	515	591
計	5,381	6,224

(単位：円)

1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		
基本的	39.35	45.54
希薄化後	—	—

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本 合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式			
2022年4月1日残高	19,878	18,990	107,617	△315	△1,871	144,297	26,901	171,198
四半期純利益			4,442			4,442	514	4,956
その他の包括利益				424		424	0	425
四半期包括利益			4,442	424		4,866	515	5,381
所有者との取引額								
配当金			△2,825			△2,825	△1,516	△4,341
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替			0	△0		-		-
自己株式の取得及び処分					△0	△0		△0
2022年6月30日残高	19,878	18,990	109,234	109	△1,871	146,338	25,900	172,238

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本 合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式			
2023年4月1日残高	19,878	19,014	115,899	66	△1,896	152,961	27,367	180,328
四半期純利益			5,139			5,139	591	5,730
その他の包括利益				494		494		494
四半期包括利益			5,139	494		5,633	591	6,224
所有者との取引額								
配当金			△2,938			△2,938	△452	△3,390
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替			△76	76		-		-
自己株式の取得及び処分					△0	△0		△0
2023年6月30日残高	19,878	19,014	118,024	636	△1,896	155,656	27,506	183,162

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,849	8,519
減価償却費及び償却費	5,570	5,233
固定資産に係る損益	20	△5,106
金融収益及び金融費用	179	462
持分法による投資損益	△1,332	265
営業債権の増減	16,359	23,417
棚卸資産の増減	△1,673	△4,202
営業債務の増減	△16,479	△17,781
その他－純額	△2,920	1,941
配当金の受取額	585	984
利息の受取額	7	17
利息の支払額	△229	△153
法人所得税の支払額	△2,941	△4,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,995	8,733
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資（持分法で会計処理される投資を含む）の取得による支出	△419	△400
投資（持分法で会計処理される投資を含む）の売却及び償還による収入	28	25
貸付による支出	△264	△124
貸付金の回収による収入	240	49
有形固定資産及び投資不動産の取得による支出	△3,636	△2,350
有形固定資産及び投資不動産の売却による収入	74	25,271
無形資産の取得による支出	△460	△1,788
無形資産の売却による収入	1	250
預け金の増減－純額	－	△10,000
その他－純額	837	2,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,599	13,323

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び借入金の返済額	△10,002	△10,671
リース負債の返済による支出	△2,834	△2,799
短期借入金の増減－純額	20,522	△444
当社株主への配当金の支払額	△2,825	△2,938
非支配持分への配当金の支払額	△1,516	△452
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他－純額	－	△384
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,345	△17,688
現金及び現金同等物の増減額	3,741	4,368
現金及び現金同等物の期首残高	38,145	32,013
為替相場の変動による現金及び現金同等物への影響額	40	56
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,926	36,437

## (5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
売上収益							
外部顧客からの収益	19,607	132,133	71,216	22,397	245,353	—	245,353
セグメント間収益	19	2,326	2,518	380	5,243	△5,243	—
売上収益合計	19,626	134,459	73,734	22,777	250,596	△5,243	245,353
売上総利益	4,465	11,351	3,728	2,830	22,374	—	22,374
営業活動に係る利益	410	1,773	2,023	1,387	5,593	103	5,696
税引前四半期利益	1,329	1,718	2,024	1,693	6,764	85	6,849
当社株主に帰属する四 半期純利益	931	1,039	1,401	1,022	4,393	49	4,442
その他の項目							
資産合計	63,943	154,834	71,053	115,341	405,171	35,613	440,784

(注) セグメント間の取引は、市場価格を参考にして決定しております。

当社株主に帰属する四半期純利益の調整額49百万円は、報告セグメントに配分していない全社損益であります。

資産合計の調整額35,613百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。



当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
売上収益							
外部顧客からの収益	15,703	139,218	32,111	27,711	214,743	—	214,743
セグメント間収益	167	2,106	1,126	151	3,550	△3,550	—
売上収益合計	15,870	141,324	33,237	27,862	218,293	△3,550	214,743
売上総利益	3,820	12,021	2,530	2,761	21,132	—	21,132
営業活動に係る利益又は 損失(△)	△35	2,056	965	6,135	9,121	125	9,246
税引前四半期利益又は 損失(△)	△490	2,011	1,018	5,866	8,405	114	8,519
当社株主に帰属する四 半期純利益又は損失 (△)	△489	1,045	699	3,853	5,108	31	5,139
その他の項目							
資産合計	61,856	164,905	56,134	90,348	373,243	33,069	406,312

(注) セグメント間の取引は、市場価格を参考にして決定しております。

当社株主に帰属する四半期純利益の調整額31百万円は、報告セグメントに配分していない全社損益であります。

資産合計の調整額33,069百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

前連結会計年度末(2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
資産合計	69,824	163,242	57,633	114,113	404,812	28,212	433,024

(注) 資産合計の調整額28,212百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前第3四半期連結会計期間において、当社の子会社である伊藤忠工業ガス株式会社を「産業ビジネス事業部門」に移管しました。これに伴い、従来「ホームライフ事業部門」に含まれていた伊藤忠工業ガス株式会社の事業を「産業ビジネス事業部門」に含めて記載する方法に変更しております。

また、当第1四半期連結会計期間において、商流変更等に伴い、報告セグメントの区分方法を見直したことによって、「産業ビジネス事業部門」に含まれていた一部の石油関連取引の区分を「カーライフ事業部門」に変更した他、「カーライフ事業部門」に含まれていたLNG関連取引の区分を「産業ビジネス事業部門」に変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度末のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分により組替えて表示しております。